

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部2年	子どもの食と栄養	菅原 園	
サブタイトル	子どもの発育に影響のある栄養と食物	単 位 数	2
授業形態	演習		
開講時期	後期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
<p>子どもの成長発育に欠かせない食生活の大切さを理解する。  健康的な身体づくりをサポートできるよう栄養の基礎知識を身につける。  日本の伝統的な食文化を子どもたちに伝えることができる。</p>			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<p>子どもの健康と発育に大切な栄養についての知識を身につけている。  保育の専門知識と栄養の知識を使って食育を実践することができる。</p>			
授 業 の 方 法			
<p>授業は講義を中心にグループワークを取り入れる。  ① 栄養素の働きを学び自身の食生活と結び付けてグループ討議をする。  ② 乳児期、幼児期の食と栄養を学びそれを実習で確認する。  ③ 特別な配慮を要する子どもの食事について理解する。  ④ 食育とは何かを理解し具体的に計画実行できる方法をグループで考え実習する。</p>			
テキスト・教材・参考図書			
<p>テキスト：『発育期の子どもの食生活と栄養』 菅原園他 学建書院 2022年  参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』  チャイルド本社 2017年</p>			
評 価 の 要 点		総 合 評 価 割 合	
<p>定期試験が評価の中心であるがレポートやグループワークに於ける貢献度などで総合的に評価する。</p>		定期試験	70%
		レポート	20%
		授業への貢献度	10%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<p>授業は講義だけでなく調理実習もあるので実習のある時はエプロンなど必要なものを忘れないように注意する。また教室移動の際は速やかに行動する。実習後のレポートは提出期限を厳守する。  子どもの栄養について普段から興味を持ち新聞などの記事に目を通す習慣をつけておく。</p>			

科目名 子どもの食と栄養

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	ガイダンス：授業の目的と進め方を理解する ・乳幼児期の食生活の特徴について学ぶ	授業概要の理解
2回	栄養の基礎知識① ・五大栄養素の体内での働きについて学ぶ	栄養素の基礎力
3回	栄養の基礎知識② ・食事摂取基準と献立作成について学ぶ	食事摂取基準と栄養素の役割を理解
4回	ライフステージの栄養 ・乳児期から成人期、妊娠・授乳期の食生活の特徴と現状の問題点について学ぶ	現代の食生活の把握と理解
5回	授乳期の栄養 ・母乳、人工乳の特徴と授乳の方法について学ぶ	乳児の成長発育についての理解
6回	離乳期の栄養 ・離乳食の役割、進め方、支援の方法などを学ぶ	乳児の成長発育についての理解
7回	調乳、離乳食の実習 ・調乳の方法を学び、いろいろな粉乳の種類や用途を理解する ・離乳食の形態の移り変わりや食材の変化を調理実習を通して理解する	実践力
8回	幼児期の発達と食生活 ・幼児期の食事の特徴について学ぶ ・幼児期の食生活の現状と問題点について学ぶ	幼児期の食生活についての理解
9回	障害のある子どもの食生活 ・障害のある子どもの食事の内容と進め方について学ぶ	障害のある子どもの食生活についての理解
10回	疾病時、アレルギーについて ・疾病時の食生活について学ぶ ・食物アレルギーのある子どもの食生活と対応について学ぶ	特別な配慮を要する子供への配慮
11回	幼児食とアレルギーのある子どもの除去食について実習を通して理解する	除去療法を理解
12回	食育の基本と内容 ・保育における食育の目的と基本的な考え方を学ぶ	食育の内容を理解する
13回	食育のための環境 ・「食べる力」に向けての支援を学ぶ	食育の内容を理解する
14回	食育の実際 ・クッキング保育の計画、実行、評価について学ぶ	実践力
15回	食育の実際 ・媒体作成の計画、実行、評価について学ぶ	実践力
試験	定期試験	